

吉野町認定立こども園の今後のあり方検討に関する保護者意見交換会 概要【資料3-①】

日 時： 令和5年6月22日（木）19:00～

場 所： 吉野町中央公民館2階第3研修室

参加者：保護者：6名 両こども園園長：2名 事務局：3名

こども園部会での検討内容の報告や保護者アンケートの中間報告を行うとともに、保護者の方から1園化に向けての認定こども園のあり方について、自由に発言を求めたものです。

〈1園化に向けての取組について〉

保護者ご意見	事務局より
過去に町はどのような目標を立て、いろいろな施策をやって来た。施策の評価や結果を聞かせてほしい。	各年度で事業ごとの評価がある。ホームページの行政評価を見て頂きたい。教育に関する計画は教育大綱・基本計画に基づいて第5次総合計画に基づいて取り組んでいる。
娘の時は一クラス9名いたし小学校でも同じくらいの比率だったので気にしていなかったが、息子のクラスは3名だった。2人休んだら先生とマンツーマン。そのような状況に慣れているので、大勢の中に行けるのかという不安がある。場所もよしのこども園ということで、わかばこども園の保護者の根底にあるのは、一緒になるにあたり、少数の意見になりうる可能性がある。そこを上手く気持ちよく統合に向けていければと思う。教育委員会に意見を聞く場を設けて欲しい。	小中一貫の取組があつて、吉北とわかばの関係性、吉野とよしのこども園との関係性の構図が崩れてしまった。今後どうすべきか一旦止まって考える時。専門的知見のある先生方が参加している教育振興審議会で問いかけをした結果答申である。子どもの減少が予測される中、特に2円の偏りが急速に進んでいる。出来るだけ早く1園化した方が良いという答申に基づいて進んでいる。
よしのこども園に通っているが、わかばこども園区に住んでいる。小さい子を預かってってくれるのはよしのこども園だけ、それもあって人数が減ってきているのではないか。私は働いているのでこの時間は有難いが、わかばこども園のお母さんたちは不安に思いながら、この夜の時間帯の会議には出にくい。そのようなことが不信感に繋がるのではないか。一緒になるならば気持ちよく、了解してなりたい。	そのような意見を頂いたので、昼間に集まれる場を7月14日（金）に設けた。最初からそのようにすればよかったのだが、意見を頂いて気づかせていただいた。

〈制服について〉

いつから制服が変わるのか？新しくするのは難しい。ばらばらはどうかという意見もあるが徐々にそろっていくのがよいのでは。	
制服はなくならないのですか？	なくすことは考えていない。

わかばに制服バンクはないのか？	〔園長〕 親同士で譲り合っている
よしのの制服バンクで、来年度入ってくる子たちの数はあるのか。	〔園長〕 在庫が分からないのでお答えできない。数字は見ておく。
どの制服にするのかも決まっていますよね。	決まっていない。

〈子育て世代の移住について〉

町や教育委員会は子どもの数を増やしていかなければならないと考えているのか。このままなるようになると思っているのか。	子ども子育て支援は町の重点施策であり、総合的な施策を講じているところ。
かわいい制服を着せたい親はいるかもしれない。一つにまとめても将来同じ問題が起こりうるかもしれない。子どもを増やす仕組みが必要。子供を増やすには吉野で産まれてくれるか、子育て世代に移住してもらうしかない。移住してもらうには何か魅力的なコンテンツがある。子育て世代の移住は子どもの年齢が上がっていくと難しい。ここで子育てしたいということも園が出来たら可能ではないか。吉野で子育てしたいと思えるような子ども園ができたらいいなと思っている。	若い世帯に移住していただくには保育が素晴らしい、無償化だと言うだけでは難しい。住むところや雇用など提供できる環境を整えるのは難しいが、空き家の問題や雇用の問題も整えていかなければならないことは役場全体で共有している。
私はお店をしたくて移住してきた。子育てが目的で移住してきたのではないが、田舎でのびのび育てたいと思っていた。結果的に吉野はいろいろ無償でラッキーだった。母親一年目なのでどうしたら子どもがのびのびと育つかよくわからないが、子供と一緒に成長したい。先輩から失敗談等も聞きながら繋げていきたい。	お母さん同士のコミュニケーションの輪は大事。そのことも含めてこども園はある。保護者の皆様方のコミュニティや学びの場も大事。いろいろなやり取りが出来る場をつくっていくことも大事。
都市部の方では自然保育が話題になっている。奈良県でも認証制度が始まったが、そういうことは考えているのか。	完全に自然保育に取り組んでいる園と、吉野町の森と遊ぼうのように少し取り入れている園があるが、根本的に考え方や取り組み方が違う。自然保育は保護者の関わり方や協力が不可欠。吉野町のこども園の保護者にそれを期待するのは難しい。
完全な自然保育でないで認定はもらえないのか。奈良県に数園しかないの、そこに名前が載るだけでも良いのではないのか。今後検討されるということですか。	吉野町のこども園での取組で認定は受けられるが、認定を受けたら結果を出さなくてはいけないので、今はハードルが高い。申請をして、認定を受けるのはマンパワーがいる。一園化して余裕ができたらいろいろなことにチャレンジするのは可能と考える。子どもに接する時間を減らしてまですべきではないが、今後検討すべきよい案だと思う。

